



一般社団法人ACFF日本支部 主催

う窩のない未来への同盟

2026年以降に誕生する子どもたちは生涯を通してう窩をつくらない

う蝕リスク評価にどのような ツールを使っていますか？

《ACFFオープンカンファレンス》

開催日時：2019年7月7日（日）13:00~16:30

会場：東医健保会館

東京都新宿区南元町4番地 電話03-3353-4311

JR信濃町駅 徒歩5分

プログラム



I. う蝕マネジメントICCMS®をいかに導入するか

林 美加子 先生

ACFF 日本支部 理事長

大阪大学大学院 歯学研究科 教授

(13:00~13:20)



II. う蝕リスク評価ツール:カリオグラムについて

和久田 一成 先生

わくだ歯科医院(静岡県浜松市開業)

(13:20~14:00)



III. う蝕リスク評価ツール:CAMBRA について

久保庭 雅恵 先生

大阪大学大学院 歯学研究科 准教授

口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学分野

(14:00~14:40)

コーヒープレイク



IV. 当院におけるう蝕リスク評価とカリエスマネジメント

辻村 傑 先生

辻村歯科医院(神奈川県伊勢原市開業)

(15:00~15:40)

V. 総合討論

(15:45~16:30)

ACFFは、「2026年以降に誕生する子どもたちは生涯をとおしてう窩をつくらない」を活動目標に掲げています。2018年に発足したACFF日本支部も、その目標を達成すべく、カンファレンスの開催やリサーチプロジェクト実施などの活動を展開してきました。

ACFFが提唱する「う窩のない未来」をつくるためには、従前のう蝕に対するアプローチである「早期発見・早期治療」といった治療介入中心のスタイルを見直し、う蝕マネジメントを軸に考える必要があります。

ACFFでは、ICCMS™(International Caries Classification and Management System)をう蝕マネジメントの基盤に考えており、そこでは①患者レベルでのカリエスリスクの把握、②う蝕病変の進行度と活動性の把握、③患者と患歯レベルの情報の統合、④テラーメイドの治療計画作成と実践、という流れがその基本となっています。

このような、う蝕マネジメントの実践には、まず、患者のカリエスリスクの把握と評価は欠かすことのできないものです。今回のオープンカンファレンスでは、臨床で実践されている様々なカリエスリスク評価に焦点を当てて、それらの特徴を把握し、より科学的かつ効果的なう蝕マネジメントについて考察したく企画しました。多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

一般社団法人 ACFF 日本支部
理事長 林 美加子

受
講
料

ACFF 会員とそこに
所属するスタッフ **: 無 料(何名でも)**

ACFF 非会員 **: 2,000 円(税込)**

※受講料のご納付は当日会場の受付にて承ります。

申
込
方
法
・
申
込
先

参加申込書にご記入の上、下記 ACFF 事務局にご送付ください。

電話・FAX・Eメールにて受け付けます。

申込者には受講証・会場案内図、請求書をご送付いたします。

ACFF 日本支部事務局 (学際企画(株)内)

〒171-0031 東京都豊島区目白 2-5-24 第2ビル

TEL 03 (3981) 7281 又は 050 (5530) 1160 (IP 電話)

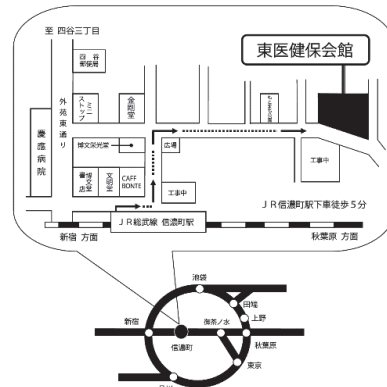
FAX 03 (3981) 7284

E-mail address acff@gakusai.co.jp

ホームページ www.acffjapan.org

東医健保会館 会場案内図

会議室は1階掲示板にてご確認ください



東 医 健 保 会 館

〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL: 03(3353)4311 FAX: 03(3357)7553

「ACFF オープンカンファレンス」非会員用申込書 (コピー可)

月 日

医院名	TEL	FAX
住 所 〒		(自宅・勤務先)
フリガナ		参加者区分(該当に○印)
参加者氏名		歯科医師、歯科衛生士・歯科助手・その他
フリガナ		参加者区分(該当に○印)
参加者氏名		歯科医師、歯科衛生士・歯科助手・その他
フリガナ		参加者区分(該当に○印)
参加者氏名		歯科医師、歯科衛生士・歯科助手・その他
フリガナ		参加者区分(該当に○印)
参加者氏名		歯科医師、歯科衛生士・歯科助手・その他
通信欄		